

平成24年3月31日

八王子市市民活動支援センター  
平成23年度事業報告

八王子市市民活動支援センター  
センター長 春田 博

1、はじめに

今年度は、八王子市市民活動協議会が引き続き、八王子市市民活動支援センターの10年間（平成23年4月1日～平成33年3月31日まで）の指定管理者として、第1年目のスタートを切った年でした。しかし、3月11日に発生した未曾有の東日本大地震発生後の余震が続く中、利用者の安全を考え、施設の夜間利用を中止しての始まりとなりました。

また、その後も電力不足に対応した節電対策も加わり、施設夜間利用制限は9月末日まで継続され、市民活動団体を含め、利用者には大変な不自由をお掛けすることとなりました。

その間、義援募金箱を設置し義援金募集に協力し、支援センターとして87,371円（八王子市市民活動協議会50,000円含む）の義援金を市へ届けました。

また、エアコンの定温設定や待機電力の削減等昼間の日常的な節電にも積極的な取り組みを行い、消費電力は、前年比月平均30%の節電（4月～8月まで）の成果を上げることができました。

2、支援センター月例会議の開催

毎月1回、月初めにセンタースタッフが一同に会した月例会を開催しています。会議内容は報告事項として、前月の各部会活動報告並びに予算執行状況の報告。議題としては時々取り組み課題の検討審議や勉強会を開催し、諸問題の共有化と情報交換を行いました。

3、企画運営会議の開催

四半期毎に1回開催しています。運営会議の構成は、八王子市市民活動協議会の3役並びに支援センター長です。テーマ内容によっては、支援センター担当部長も参加します。会議内容は、支援センター四半期毎の活動報告並びに業務運営に関する協議や意見交換等を行い、相互の連携協力を図りました。

評価と課題

理事会等で日常的報告は行っていますが、四半期毎に行う企画運営会議は、両者の連携強化につながっております。今後とも支援センターの当面の課題だけでなく、中長期的課題を含め前向きな討議を行っていきます。

4、個人情報セキュリティ監査の実施。

平成23年4月12日、個人情報保護管理規程に基づき、平成22年度の監査が監査責任者春本高夫氏により行われ、平成23年4月15日付けで、監査報告書を受理致しました。

監査結果では、個人情報の取扱い、管理状況は適切に行われており良好で、前年度課題とされた個人情報管理マニュアルも作成、整備されたことは、評価に値するとの診断をいただきました。また、PC、インターネット上のデータの取扱いが増加しており、情報漏洩を念頭に対策を検討することを課題として指導されました。

- ① 第1回「セキュリティ委員会」は6月3日に開催しました。

新年度委員会組織図並びに役割分担を確認して、平成22年度「監査報告書」の内容と指摘事項の対策を協議しました。また、スタッフの意識向上やスキルアップを目的に個人情報保護に関する理解度チェックの設問に取り組みました。

② 第2回「セキュリティ委員会」は12月9日に開催しました。

前任の個人情報管理監査人春本高夫氏に代わり、八王子市情報公開・個人情報保護運営審議委員でもある新監査人水野義嗣氏を講師として、「個人情報保護及び情報管理について」をテーマにした研修と質疑応答でスタッフの意識高揚を図りました。

#### 評価と課題

インターネット上でのデータの取扱いが増加しており、漏えい事故対策として情報の取扱いについて一層注意するよう教育致します。

#### 5、八王子市環境マネジメント制度の取り組み

今年度の環境マネジメント研修会を開催しました。

テーマ「L A S—E（八王子市環境マネジメントシステム）に取り組む意義」

講師：八王子市環境政策課 塩崎紀子氏、

教材：「環境マネジメントシステムハンドブック」

講師から制度の説明と取り組み事例の紹介があり、その後、意見交換を致しました。

まとめとして、過程（プロセス）が大事、省エネは「見える化」と分析でステップアップする。

省資源は、使いやすさや仕事の効率化にも繋がる。職員全員で職場に合った取り組みを考える等の話し合いを致しました。

#### 評価と課題

今年度は、予定されていた指定管理施設の環境マネジメント外部監査は実施されなかったが、これからも、震災後の様々な対応経験も含め、支援センターとしての環境マネジメントシステムの意義の理解と実践に努めて行きます。

#### 6、「指定管理者制度」のモニタリングの実施結果と評価

平成23年8月11日、八王子市より平成22年度支援センターの管理運営に関わるモニタリングの実施結果について書面で通知がありました。

今回は、5年間の指定管理期間の最終年度で、これまでの運営の成果が問われる年でありましたが、総合評価は4年連続の“A”評価となりました。

評価概要は市民満足度調査において高い満足度を維持し、国内各所にとどまらず海外からの視察を受け入れたことは、その成果が各所から注目されていることの表れと評価されました。またホームページへのアクセス件数やメールマガジンの配信件数が大幅にアップし、施設PRに寄与したことも評価されました。

#### 評価と課題

モニタリングの評価を受け、スタッフ一同、今後とも中間支援組織としての使命を自覚すると同時に、総合評価の指摘にもある、地縁型・テーマ型組織等多様な主体が関わり合う事業や「ゆめおりファンド」の運用等を通じ、市民活動団体の基盤強化の支援をして行きます。

#### 7、調査研究活動

調査研究活動として、「平成23年度市民満足度調査報告」を平成23年1月5日～1月31日に

実施しました。回答件数は203件、調査結果は、各項目とも、市民や市民活動団体より高い評価を頂きました。

「平成23年度市民満足度調査報告」、「平成23年度施設、会議室利用状況報告」、「平成23年度啓発部会アンケート調査報告書」を作成し「市民活動通信」やホームページで公表します。

#### 評価と課題

センターに寄せられた意見や要望事項は、それぞれの項目について真摯に受け止め今後の業務運営に反映し、市民や市民活動団体の期待に応じて行きます。

\*別紙参照：「平成23年度市民満足度調査報告」、「平成23年度施設、会議室利用状況報告」  
「平成23年度啓発部会アンケート調査報告」

#### 8、施設利用状況（23年度・利用件数）

会議室	コピー機	印刷機	面談相談	来所他	電話相談	電話他	活性化室	メール相談	メール他
725	538	376	106	714	85	3,137	511	5	4,997

\*別紙参照 「平成23年度施設・会議室利用状況報告」

#### 評価と課題

施設利用は、従来からの利用者に加え、新規登録の利用者が増えている傾向が見られます。相談に関しては、直接、市民活動に関係のない幅広い内容や、大学生からの相談、助成金申請、推薦状の依頼、行政視察見学等が増える傾向にあり、支援センターの認知度の表れと評価し、スタッフのスキルアップとともに、今後ともニーズに合った対応を心掛けます。

また、印刷機、紙折り機等の利用増加に伴い、設備・機器操作音が、相談や電話対応に支障をきたす場合もあり、今後、市とも対応等を協議して行きたい。

#### 9、総務、相談部会の活動

##### 4月度

- ・4月1日、人事異動新規採用 副センター長：大山健三、コーディネーター：辻村千枝子
- ・4月14日、「指定管理者基本協定書」、「指定管理者平成23年度協定書」を石井理事長名にて黒須八王子市長宛て提出しました。
- ・4月12日、協働推進課より、東北大震災発生後に実施されている会議室夜間利用中止を引き続き5、6月も継続の連絡があり、また、センターの鍵の預け先を、男女共同参画センターに変更する旨の指示がありました。
- ・4月28日、東日本大震災義援金募金箱の設置を4月末から5月末まで延長するよう指示があり、引き続き協力することになりました。
- ・4月29日、支援センター平成22年度の会計監査（監査人：荻部尊也氏、工藤秀美氏）が実施され、無事終了しました。特に指摘事項はありませんでした

##### 5月度

- ・5月13日、公益ポータルサイト関東ブロック会議を開催地幹事として労政会館で開催しました。5月13日、社外研修会「活動を振り返り、見直すために、評価しよう」（主催：子育て支援とうきょう会議）にスタッフ1名参加しました。

○東日本大震災に伴う義援金募集

出先での東日本大震災義援金募集の終了を受け、義援金募金箱を八王子市総合政策部に提出しました。募金総額は、支援センター募金箱で37,317円と八王子市民活動協議会で50,000円、合計87,317円となりました。

#### 6月度

東日本大震災後の電力不足への国の目標、電力消費15%削減により、八王子市管理施設への具体的対応で、支援センターも6月1日～9月30日まで、開館時間を10時から17時までとすること及び引き続き館内節電に努める旨の指示がありました。

これに伴い、支援センター内では、さらなる節電効果向上のために、お客様対応及び業務に支障のない範囲での照明用蛍光灯の間引きや昼休み照明削減、PCの省電力設定、扇風機の購入等の具体的な対策を講じました。

- ・6月21日、施設5階、(社)八王子観光協会との合同防災訓練を実施し非常時の役割、避難口や消火設備の位置確認等を行いました。
- ・6月30日、社外研修会「助成金申請の基礎知識」(東京ボランティア・市民活動センター主催)にスタッフ2名が参加しました。

#### 7月度

- ・7月7日、平成22年度八王子市モニタリングの実施  
市の協働推進課より松日楽次長他2名来館。平成22年度事業のモニタリングが実施されました。
- ・7月27日、平成22年度期中モニタリング(事業評価)シートを提出しました。  
市の事業評価項目に従って、自己評価をA、B、Cの3段階評価を行い提出しました。
- ・7月27日、NPO法改正、新寄付税制制度に関するセミナーに参加しました。
- ・7月28日、平成23年度「第1四半期事業報告書」を市に提出しました。
- ・7月28日、第3期八王子志民塾で、テーマ「八王子市市民活動支援センター及びNPO法人八王子市民活動協議会の概要と主要事業」の紹介を大山副センター長が講義しました。
- ・7月29日、東京都主催の新しい公共支援事業の説明会に参加しました。

#### 8月度

- ・8月3日、第1回「NPO八王子会議」の実行委員会を開催しました。協議会主催事業ですが、実行委員長に春田センター長、事務局長に大山副センター長他支援センタースタッフも数名委員として参画し、平成24年2月25日の開催に向けて協力して行く事になりました。
- ・8月10日、協働推進課より八王子市で実施しているインターシップ制度で、支援センターでの受け入れ要請があり、法政大学の学生を1日受け入れました。
- ・8月30日、東京都区市町村NPO担当者会議に出席(大山副センター長)しました。  
行政及び中間支援組織の担当者と「新しい公共」や「地域との協働を進めるための仕組みづくり」等の研修や情報交換を行いました。

#### 9月度

- ・9月3日(土)、八王子市、小平市、府中市、三鷹市、日野市、西東京市の6市・市民活動支援組織が相互交流、情報交換を行う連絡会が立ち上がり、センター長の代理で大山が出席しました。今後、3ヶ月に1回程度持ち回りで開催される予定です。
- ・9月9日(金)、平成23年度環境マネジメント研修会を実施しました。

テーマ「L A S—E（八王子市環境マネジメントシステム）に取り組む意識」

講師：八王子市環境政策課 塩崎紀子氏、

教材：「環境マネジメントシステムハンドブック」

講師から制度の説明と取り組み事例の紹介があり、その後、意見交換を致しました。

まとめとして、過程（プロセス）が大事、省エネは「見える化」と分析でステップアップする、省資源は、使いやすさや仕事の効率化にも繋がる。職員全員で職場に合った取り組みを考える等の話し合いを致しました。

- ・ 9月14日、団塊世代等地域参加支援に関する情報交換会を当支援センター幹事で実施しました。当日は、研修も兼ね、八王子市都市政策研究所の職員、研究員（3名）により「八王子市における中高年世代の生活実態と生活意識に関する調査報告」（研究報告書冊子）の内容について説明願ひ有意義な意見交換を致しました。その後、参加者諸施設から情報提供があり散会しました。
- ・ 9月17日（土）志民塾3期専門コース（コーディネーターコース）の第2回目講座として塾生15名を受入れました。支援センターの概要は、基礎コースで既に完了していたため、支援センターの重要な業務の一つである相談業務とチラシ作製について学んでいただく実体験のカリキュラムで受入れを行いました。協働推進課から2名出席しました。
- ・ 9月29日（木）会議室の夜間利用制限が解除の通知がありました。

市・協働推進課より、東日本大震災発生以降、停電時の危険回避や節電を目的として実施してきた17時以降の会議室利用の制限を10月1日以降解除し、通常通り21時までの利用を許可する旨の連絡がありました。これに伴い、夜間利用制限解除の情報をホームページに掲載すると同時に、登録団体にメールや郵送にて周知を図ると同時に、夜勤体制を整えるべく夜勤スタッフへの周知も行いました。また、鍵保管先が変更になりました。

10月1日（土）～11日（火曜日を除く）生涯学習センター事務室（クリエイト7階）

10月12日（火）以降 八王子市学園都市センター（スクエア11階）

10月度

- ・ 10月1日（土）、夜間会議室利用の再開（夜勤当番の再開）

八王子市の停電時安全確保、節電等による夜間利用制限が解除され、会議室の夜間利用が再開されたことに伴い、鍵の預け先変更、夜勤当番再開ということで、6か月のブランクを考慮し、スタッフ一同、必要事項の再確認を行いました。

- ・ 10月12日（水）、ファルマ802ビル、テナント（大星ビル管理関係各社）の避難訓練を実施しました。

11月度

○期中モニタリング（自己事業評価）を実施しました。

上半期の業績評価（評価項目による）と期末モニタリングの課題等について意見の交換を致しました。

11月15日、ファンド部、広報部

11月17日、情報部

11月22日、啓発部

○市立中学校生徒職場体験実習の実施

八王子市立柵田中学校

平成23年11月8日～10日 3日間、10:00～15:30

実習生 2名(2年生)

プログラム内容:机上教育、デスクワーク(電話応対等)、パソコン実習(団体表示紙、作成等)、  
職場実地体験(NPO法人ヒューマンケア協会、NPO法人八王子こども劇場、八王子国際協会、  
八王子市子ども家庭支援センター)

八王子市立檜原中学校

平成23年11月29日、10:00～14:00

実習生2名(2年生)

プログラム内容:机上教育、デスクワーク、パソコン実習

○八王子市「IT個人情報セキュリティー研修会」にセンター長他1名が出席しました。

テーマ「外郭団体のサイバー攻撃への注意喚起」について

・情報セキュリティー対策会議出席

11月15日、最近の公的機関に対するサイバー攻撃の頻発で、内閣官房長官から「情報セキュリティー対策の強化について」との文書が出されたことから、施設管理者を対象に、八王子市のCIO補佐官(河合浩司氏)による講習会が実施され出席してきました。

12月度

○情報セキュリティー委員会の開催

12月9日(金)、13:00～14:30、会場は支援センターで開催しました。

講師に水野義嗣氏を招き「個人情報保護と情報管理」と題して研修会を実施しました。

- ・情報セキュリティーに関する法律と国際規格
- ・個人情報保護法に関する法律、条例と規格
- ・情報セキュリティー関連制度とその認定処置
- ・実施を要求されている4つの安全管理処理

安全管理策の必修事項と望まれる手法例等の説明がありました。

出席者との質疑に時間を割き、理解を深める研修会になりました。

\*講師略歴

八王子市情報公開・個人情報保護運営審議会委員

ISMS(財団法人日本規格協会)判例委員会副委員長等

1月度

・1月5日、6日、八王子市役所、八王子市町会自治会連合会、八王子商工会議所、八王子薬剤センター等、関係団体に新年の挨拶まわりを行いました。

・1月12日、アンケート調査に協力

法政大学山岡教授の依頼で法政大学大学院研究科の研究生が実施している「シニア男性の過ごし方に関する」調査に協力して約20人分、提出しました。

・1月19日、団塊世代等地域参加支援情報交換会

定期的に行われている情報交換会は、今回、協働推進課の幹事で開催されました。

テーマは「市立小中学校のボランティアに関する報告及び情報交換」、講師に八王子市教育センター石垣館長他等を招き支援センターを会場に実施しました。

当センター内に設置されている教育支援人材バンクの実情報告や新たな教育支援人材確保について意見の交換を行いました。

また、「センター元気」が「生きがいづくり、仲間づくりができるプラットホームの活動」が評価され、平成23年度総務大臣賞を受賞されたとの報告がありました。

指定管理制度並びに公設民営の利点、課題、センターの運用、管理等について説明して質問にも応対致しました。

- ・ 1月25日、石巻市立大川中学校長より支援物資提供（フロピデスク2台）について丁重な礼状が届きました。
- ・ 1月26日、支援センター「第3：四半期活動報告書」を市に提出しました。

#### 2月度

- ・ 2月10日、八王子商工会議所新年会に参加企業関係者との名刺交換。ゆめおりファンドや市民活動について情報交換、意見交換等を行いました。
- ・ 2月17日、情報セキュリティの外部監査の実施。監査人は株式会社ゲインコントロール新井代表取締役、協働推進課山口氏、協議会より石井理事長、大福事務局長、大山副センター長、岩田情報部長が立ち会いました。
- ・ 2月21日、新市長を協議会、支援センターとして表敬訪問（石井、大福、春田、大山）しました。

#### 3月度

- ・ 3月10日、八王子市セカンドライフ講座～職場や家庭から地域へ～、主催：八王子市。植村昇が講師として参加。
- ・ 3月17日、多摩コミュニティビジネスフォーラムに川久保美紀子が出席し、中間支援組織としての八王子市民活動支援センター及び八王子市民活動協議会を紹介しました。
- ・ 3月21日、「地球ステージ in 八王子」に実行委員として参加。
- ・ 3月25日、八王子シニア元気塾第8期生総会に春田センター長が出席し講話。
- ・ 3月29日、6市・市民活動連絡会出席。テーマ：「中間支援組織と事業評価について」

#### ○行政等の視察調査、見学

- ・ 8月25日、静岡県富士市市議会議員の視察来訪

富士市市議会議員10名が「はちおうじ志民塾」等の視察見学で支援センターに来訪。

市協働推進課から松日楽次長、島村主査及び議会事務局の3名で対応、支援センターからは、志民塾卒業生である、大山、岩田、辻村の3名も立会い協力しました。

- ・ 9月7日、千葉県流山市役所市民生活部コミュニティ課職員、流山市民活動推進センター長の2名が来館。当支援センターの組織、事業運営、団塊世代に対する地域活動を始めるきっかけづくり事業について質問がありました。

支援センター事業については、映像（ようこそ支援センターへ）や関連資料で説明しました。八王子市は志民塾や団塊の世代相談窓口について、協議会からはオトバの取り組みについて説明がありました。相互に情報や意見交換をして、3時間を上回る有意義な交換会になりました。当日、協働推進課松日楽次長、島村主査、石井理事長にも出席頂きました。

- ・ 1月20日、元下関市議会議員が視察見学で来訪。

2月8日の山口県下関市議会議員10名、八王子市役所視察訪問の先導調査とのこと。

- ・ 1月31日、長野県松本市市民環境部地域づくり課より課長補佐（協働推進担当）が視察見学で来訪しました。

冒頭、協働推進課から松日楽次長、島村主査が出席して、市側の市民協働についての取り組みについて説明がありました。

新しい公共サービスの担い手である市民団体との協働施策やシニア世代の地域参加型イベント等に興味があり、現在取り組み中のオトバ事業について、担当の岩田スタッフから説明し理解を頂きました。支援センターの運営管理等については、関連資料を用意して質問に対応しました。

- ・ 2月8日（水）、山口県下関市市議会議員10名、八王子市役所に視察訪問、当日、議会棟会議室で八王子市協働推進課から八王子市の市民協働の取り組みについて、松日楽次長、島村主査より説明があり、その後、映像で支援センターの紹介を致しました。

指定管理制度、協議会との連携、公設民営の特色、ゆめおりファンド等について質問があり、約2時間、質疑応答、意見交換を致しました。

#### ○講演活動

- ・ 10月27日、法政大学現代福祉学部コミュニティスタディ演習で「高尾山地域における市民活動の発展と課題」について春田センター長が講演しました。
- ・ 11月8日、平成23年度「シニア元気塾基礎講座」について春田センター長が講演しました。  
主催：八王子市高齢者支援課、会場；市民体育館会議室、テーマ「活動事例～ようこそ八王子市市民活度支援センター」。
- ・ 11月16日、八王子市市民企画事業補助金交付団体の情報交換会が教育センターで開催され、大山副センター長、堀井ファンド部長が出席してきました。補助金の交付団体になりしっかり運営をすることや、「ゆめおりファンド」の登録をすることで、団体としての評価や、認知度が高まることや今後とも支援センターを積極的に利用頂きたい旨話させていただきました。
- ・ 11月26日、「八王子市生涯学習コーディネーター入門講座」について春田センター長が講演しました。主催：八王子市生涯学習総務課、会場：クリエイトホール、テーマ「行政との協働と市民団体の役割」。
- ・ 3月10日、八王子市セカンドライフ講座～職場や家庭から地域へ～、主催：八王子市、～植村昇が講師として参加。
- ・ 3月25日、八王子シニア元気塾第8期生総会出席。春田センター長講話。

#### ○スタッフ外部研修（人材育成）

- ・ 5月13日、主催：子育て応援東京会議、テーマ「活動を振り返り、見直すために、評価しよう」
- ・ 5月18日、主催：f-ship、テーマ「3. 11後を生き抜く」
- ・ 6月30日、主催：東京ボランティア・市民活動支援センター、テーマ「助成金申請の基礎知識」
- ・ 7月27日、主催：NPO支援東京会議、テーマ「大きく変わった！認定NPO法人制度とNPO法～新制度の理解と活用」
- ・ 8月11日、主催：NPO法人シーズ、テーマ「認定申請書記載に当たってのチェックポイント」
- ・ 10月13日、主催：さわやか福祉財団、テーマ「寄付で創ろう！みんなのまち」
- ・ 10月14日、主催：テックスーパージャパン、テーマ「NPO/NGOの現場で使えるチラシのコツを学び合おう！～アドビ イラストレーター編～」

- ・ 11月13日、主催：第20回全国ボランティアフェスティバルTOKYO実行委員会  
①テーマ「NPOの基盤強化、助成団体との新たなつながり」②テーマ「これからのエネルギー」
- ・ 12月1日、主催：NPO会計基準協議会、テーマ「～さあ、みんなで認定をとろう～」
- ・ 12月3日、主催：日本ファンドレイジング協会、テーマ「初級ファンドレイザー制度・必修研修」
- ・ 12月4～5日、主催：日本ファンドレイジング協会、テーマ「ファンドレイジング日本2012」
- ・ 2月16日、経済産業省主催、テーマ「絆のビジネス、人々の共感、つながりから始まる地域の活性化」
- ・ 2月23日、認定NPO法人日本NPOセンター主催、テーマ「新しい公共は地域の基盤をつくれるか」～今、NPOと行政ができること～

#### ○施設内の備品の整備

デスクトップ型PC2台、ノート型PC1台、PC盗難防止ワイヤーロック、会議室掛時計2台、災害時対策用品（非常食、保存水）一式、防災対応ラジオ1台、ブルーレイレコーダー1台、ファクシミリ1台、脚立（3段）、書類ラック1台

#### ○図書・資料の充実

寄付税制改正、NPO法改正に伴い、認定NPO、会計基準等、資金面からNPOの運営に関する図書を中心に購入をしました。

- ・「認定NPO法人制度の手引き（七訂版）」 国税庁
- ・「ここからはじめるNPO会計・税務」 ぎょうせい
- ・「とるぞ!!認定NPO法人～認定NPO法人制度の概要から申請書の書き方まで～」(特) シーズ・市民活動を支える制度をつくる会
- ・「対話でわかるNPO会計 超初心者でも10日間で決算までステップアップ」 NPO事業サポートセンター
- ・「NPOのファンドレイジングをはじめよう～市民の力を掘り起こす「資金開拓」」  
(特) シーズ・市民活動を支える制度をつくる会

#### 評価と課題

支援センター事業の広報活動として、「平成22年度支援センター事業報告書」を作成し、PRに有効活用しました。また、今後とも、タイムリーな書籍など、個人や団体のニーズに合った書籍購入を心掛け、支援センターの情報図書館として、またスタッフのスキルアップのツールとして、予算の許す範囲で積極的に所蔵して行きたい。

## 10. 広報部の活動

### ○「市民活動通信」の発行

「市民活動通信」は、毎回奇数月の1日に予定通り発行することができました。奇数月の5日前後に開催する広報部会では、紙面の掲載項目等を検討し、偶数月の10日前後に開催する広報編集会議では、紙面の編集内容を審議しています。

主な掲載内容は、1面では市民活動団体の活動状況を取材記事として掲載し、2面は市の市民企画事業補助金の交付決定された事業を3団体ずつ掲載、3面はセンター主催のイベントやお知らせ事項のほか、市（協働推進課）や市民活動協議会が主催するイベント事項を掲載、4面は主に市民活動団体のイベント情報やボランティア募集情報などを掲載しました。

特に、今年度は市民活動と企業との連携を意識して、1面で「企業のCSR活動」を紹介することとし、9月（第44号）には「カシオ計算機㈱」、11月（第45号）には「㈱村内ファニチャーアクセス」、1月（第46号）には「北原国際病院」のCSR活動をそれぞれ掲載しました。

（発行部数は、毎回5,000部発行）

発行号数	発行部数	発行日	配布先
第42号	5,000部	平成23年5月1日	センター登録団体、協議会会員、市の公共施設、市内各駅の広報スタンド、中間支援団体、市内NPO法人、配布希望町会・自治会 その他（八王子町会自治会連合会、八王子老人クラブ連合会、八王子センター元気、八王子レクリエーション協会、紙面掲載団体、他）
第43号	5,000部	平成23年7月1日	
第44号	5,000部	平成23年9月1日	
第45号	5,000部	平成23年11月1日	
第46号	5,000部	平成24年1月1日	
第47号	5,000部	平成24年3月1日	

#### 「市民活動通信」の主な配布先と配布部数

発行号数	第42号	第43号	第44号	第45号	第46号	第47号
配布先	23.5.1	23.7.1	23.9.1	23.11.1	24.1.1	24.3.2
センター登録団体	596	735	600	735	735	738
協議会会員(団・個)	357	232	353	232	232	209
市の公共施設	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100
駅の広報スタンド	840	760	760	740	740	740
中間支援団体	260	260	265	260	260	260
市内NPO法人	315	339	330	339	339	339
配布希望町会・自治会	109	109	109	109	109	109
その他	320	410	420	410	435	410
特別配布(アクティブ用)	50					
合計	4,947	4,945	4,937	4,925	4,950	4,905

#### ○「メールマガジン」の配信

Eメールを利用して「八王子市市民活動支援センター便り」として、支援センターからのお知らせやアクティブ市民塾の開催案内、助成金情報、各市民活動団体等のイベント情報などを、センター登録団体や中間支援団体及びイベント参加者でメールマガジンの配布希望者などへ毎月配信しました。

（協議会関係への配信は、これまで理事のみにはいしんしていましたが、第37号から会員全員にも配信することにしました。）

配信先／配信日 配信号数	4/1 27 号	4/27 28 号	6/1 29号	7/1 30号	8/1 31号	9/2 32 号	10/3 33 号	10/3 臨④	11/2 34 号	12/2 35 号	1/6 36号	2/7 37 号	3/6 38 号
登録団体	154	156	161	165	165	160	162	162	163	162	167	169	172
イベント参加者	71	71	71	71	71	86	86		82	82	82	82	82
中間支援団体	16	16	16	16	16	16	16		16	16	16	16	16
協議会関係	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	108	108
その他	13	13	13	13	14	15	15	15	15	15	15	18	18
合計	273	275	280	284	285	296	298	196	295	294	299	393	396

### ○ 「パンフレット」のリニューアル

これまでの支援センターのパンフレットは、2006年4月に作成したもので、掲載内容などが現在の支援センターの内容にそぐわないものになってきました。

そこで支援センターの機能や役割などを新たに紹介するパンフレットを作成するため、広報部を主体としたプロジェクトを発足させ、5月から9月にかけて検討してきました。

検討にあたって、はじめは自由な発想の元にそれぞれのアイデアを持ち寄ってもらい、逐次、用紙サイズや折り方、掲載内容、挿入写真、表現方法などを検討してきました。

パンフレットサイズは、移動式展示ラックにも収まり易いように（縦210mm×横105mm）とし、折り方は、見易さと扱い易さから観音開きの仕様にししました。

さらに、支援センターが市民の皆さんから愛着を持って活用していただけるよう、愛称名を「サポート802」とし、八王子の「はち」をもじって、可愛らしい「ハチ」を図案化したイラストを挿入しました。

また、掲載内容はできるだけやさしい言葉を使用し、問い合わせなどの多い事例は「支援センター6つのサポート」の中に例示で掲載するなど、より分かり易くするよう努めました。おかげさまで利用者からは、見栄えの良い、すばらしいパンフレットができたと評価されました。

### 評価と課題

- ・ 「市民活動通信」の掲載内容や紙面編集等、ややマンネリ化したきらいがあるので、次年度に向けて検討することとした。
- ・ 「市民活動通信」に「企業のCSR活動」を掲載したことにより、駅の広報スタンドの利用が増えたとのこと。（企業名が入っているので、通勤客の目を引いているのかも知れません。）
- ・ 「メールマガジン」の配信数が、300通近くに達した。おかげで、アクティブ市民塾等への講座参加者が、メールでの参加申し込みが多くなってきているようだ。
- ・ メールマガジンを市内の大学へも配信する予定でいたが、各大学とのコミュニケーションがなかなかとれず、実現できなかったため、引き続き24年度で実現に向けて努力したい。

1 1. 啓発部の活動

- ① 「アクティブ市民塾」は、従来通り月1回の計12回計画しましたが、4月度は前3月度に引き続き東日本大震災のため中止しました。このため年間11回の実施となりました。
- ② 「市民活動入門講座」は、従来年3回行って来ましたが、講座内容が高度であるため「入門講座」の名前が適切でないことや市役所や他団体が類似の講座を実施するようになったので中止し、「市民活動支援講座」年3回と「市民活動実践講座」年1回実施に変更しました。
- ③ 「市民活動支援講座」の講座内容は、市民団体間の交流や団体会員のレベルアップ等の教育で、幅広い活動団体を会員に持つ当センターの特徴を生かした講座です。6月・11月・2月の3度開催しました。
- ④ 「市民活動実践講座」は従来の「入門講座」と同様に市民・団体のレベルアップになる講座で、9月に実施しました。
- ⑤ 上記3つの講座数は従来の年15回から16回に増加しています。
- ⑥ アクティブ市民塾「100回記念誌」（100回の軌跡）を10月に発行しました。
- ⑦ 啓発部主催 講座内容一覧表は次の通りです

講座名	市民活動 入門講座	市民活動 実践講座	市民活動 支援講座	アクティブ市民塾	合計 回/年
～20年度	年3回	—	—	年12回 毎月1団体	15
21年度～	年1回に減	—	新設年3回	同上	16
23年度～	中止 →	新設年1回	年3回	同上	16
対象	全ての市民と市民団体		市民団体主体	全ての市民と市民団体	
内容・目的	知識等のレベルアップ		団体の質向上	市民団体の活動紹介	

参考：「市民活動入門講座」

- 20年度 6月：SOHOに学ぶ事業経営 前田隆正氏
- 10月：市民活動における資金づくり 松原 明氏
- 2月：ご近所の底力！地域があなたを待っている 堀尾正明氏
- 21年 6月：新公益法人制度とNPO法人課題 山岡義典氏
- 22年 5月：コミュニティビジネスがまちを変える 永沢 映氏
- 23年より 「市民活動実践講座」に名称変更
- 23年 9月：「NPO法人えがおつなげて」のソーシャルビジネスに  
学ぶ 八王子の資源の活かし方 曾根原久司氏

- ⑧ 講座への参加人数は下表の通りです

講座名	アクティブ市民塾	市民活動支援講座	市民活動実践講座	計
実施回数	11回	3回	1回	15回
参加人員数	464名	60名	88名	612名
昨年度	397名	56名	65名	518名

- ⑨ アクティブ市民塾への参加人数の推移は次の通りです。

総参加人員数は下表のように、今年上期はやや増加しました。

		総参加人員数 名					
		23年度	22年度	21年度	20年度	19年度	18年度
実施回数	回	11	11	12	12	12	12
参加人数 名	総人数	464	397	444	441	340	313
	1回当たり	42	36	37	37	28	26

注1：（3月）・4月は東日本大震災のために初めて1回休みました。

注2：1回当たりの参加者数は昨年度より約1割増加しました。

これは100回達成記念大会を広い八王子労政会館で実施した為もあります。

### 評価と課題

- ・新年度契約に基づき、東日本大震災による中止1件を除き、全講座を実施しました。
- ・全参加者数612名（対22年度94名増）もアクティブ市民塾も11回にもかかわらず464名（+67名）と新記録を達成しました。
- ・アクティブ市民塾「100回記念誌」を発行し、今後とも継続開催の気持ちを新たにしました。
- ・24年度も新契約通り企画実行する予定です。
- ・アクティブ参加者が増加傾向の中、会議室収容限度オーバーで、参加申込をお断りする場合があります、今後の検討課題と。

## 1.2. 情報部の活動

### 1. 団体情報の活用検討

#### 1) 持ち帰り団体情報の調査

協議会、支援センターで持っている会員情報、団体情報の確認を行いました。

ファイルメーカーで管理している会員情報項目、オトパ団体紹介冊子の掲載項目、支援センター登録団体情報項目を一覧表とし、共通項目/独自項目を明確にしました。

#### 2) 団体情報をホームページへ掲載している事例の調査

市民活動団体情報を支援センターのホームページに表示するため、HPにおける団体/会員情報の管理システムを確認しました。

#### 3) 6月29日 ①、②に基づき支援センター案を作成し、協働推進課、五大システムと打合せを実施し、方向性は合意されました。\*前期はサーバー切替を優先したため、いったん中断することになりました。

10月25日五大システムと具体的なアイデアを提示し、検討を依頼しました。結果的に設計工数がかさむため、協働推進課で来年度予算を申請し、実施は来年度となりました。

### 2. 支援センターHP改善

1) H22年度はイベント情報の活用のしやすさを中心に、助成金情報、ボランティア情報へのアクセスを改善しましたが、H23年度は表示の改善に加え、作業のしやすさの観点でも改善点を検討しました。

\* 6月29日、団体情報のホームページ掲載と併せ、HP改善希望点ポイントを検討しましたが、サーバー切替優先で保留となりました。→H24年度で実現を図ります。

### 3. 支援センターサーバー更新

昨年年末に支援センターサーバーの容量が問題となり、今年度 8 月にサーバーの切り替えを実施しました。

1) ホームページのイベント情報等で添付している PDF が自動では移設できないことが判明したので、センタースタッフで分担し、PDF 等を別途保存、サーバー移設後再添付しました。

2) メールアカウントを手動で移設しました。

スタッフで分担し、特別フォルダーに保存しました。

### 4. システム&ネットワーク LAN の維持管理

1) 支援センターLANトラブル対応

LAN が不安定となり、原因解析の結果、ルーターの異常と判明したため、ルーターを交換しました。

使用していたルーターは販売終了しており、同機能のルーターは高価であったため、2 台のルーターを使用し、ソフトで内部 LAN、外部 LAN を切り分けるシステムとしました。

2) 無線 LAN が不安定になっていたため、無線用エアーステーションを更新しました。

3) PC02 の動作が異常となったため、新パソコンを購入しました。コストダウンのため、Microsoft Office はネットで購入し、自前でインストールしました。Windows7 Microsoft Office2010 をインストールし、支援センターで最新のバージョンとなりました。但し従来直結していた印刷機は古いため、Windows7 に対応できず、PC01 へのリンクに変更しました。

### 5. 情報管理

1) 情報セキュリティ改善

次の 3 項目の改善を実施しました。

① 支援センター内パソコンのパスワードを 1 回/半期変更することとしました。

② 外部用無線 LAN にパスワードを設定した。

従来は外部から自由に外部 LAN にアクセスできる状態でした。(スタッフが使用している内部 LAN にはアクセスできません。)

③ 外部会場あるいは自宅等へのデータ持運び用にパスワードつき USB を購入し、使用開始しました。

2) 情報セキュリティ教育実施

① 設問形式により、スタッフの意識向上の教育を実施しました。

② 外部講師による情報管理全般にわたる講義を実施しました。

③ H24 年 2 月の情報部会において情報セキュリティ簡易診断表の項目の説明を実施しました。

### 6. 新規ソフト導入

1) PC ソフト寄贈プログラムを活用し、デザイン用ソフトを導入しました。

パンフレット、チラシ等の作成に使用する本格的なデザインソフトの寄贈を受けるため techsoup プログラムに寄贈申請し、イラストレーター、フォトショップを含むデザイン関係の総合パッケージ「Adobe CS5 Design Premium」(市場価格 249,900 円)を寄贈仲介手数料 13,734 円で入手し、オトパチラシ等の最終仕上げに活用しました。

2) 今後の活用

① 入手したイラストレーターは支援センターで作成するチラシ、パンフレット類の作成に活用します。

② PC ソフト寄贈プログラムに申請した経験を活かし、ファンド事業の一環として、市民活動団体対象に講習会等で申請をサポートします。

## 7. ホームページ運用実績

HP更新実績	累計	月平均	昨年
・イベント登録件数; イベントカレンダーへの登録;	327件	27件	27件
・助成金情報; 新着情報	147件	12件	6件
・ボランティア情報; 更新	22件	2件	2件

### 評価と課題

- ・ホームページ関係では、登録団体情報を掲載する案を作成しましたが、予算計上したうえで実施する予定です。ボランティア情報、助成金情報関係の作成済み改善案も併せて実施します。
- ・外部団体の情報を積極的に収集し、ネットワーク形成の重要なツールとして、また、相談者へのアドバイスに活かすため、さらにホームページを充実していきます。
- ・平成23年度は情報セキュリティに関し、①パソコンパスワードの定期変更 ②外部無線LANにパスワード設定 ③USBにパスワード設定の3点の改善を行いました。
- ・PCソフト寄贈プログラムにより入手した、デザインソフトを積極的に業務に活かして行きます。

### 13. ファンド部の活動

「ファンド事業」が支援センターに移管され今年で2年目となり、昨年同様各団体にファンドの主旨を広く周知してCANPANシステムへの登録団体を増やすことを重点に活動しました。

その結果、登録団体は32団体(3月1日現在)となりましたが次年度も引き続きファンド事業の周知・登録を推進してまいります。また、寄贈件数も市並びに市民からのご協力もあり7件、そして頒布実績も団体数が15件となりそれぞれ有効活用され感謝されています。

### 課題と評価

市の助成金支給団体・八障連関連団体・商工会等の会合に参加して、「ゆめおりファンド」の活動をPRし少しずつ認知されつつあうものの、登録促進が図れず、単に登録することで自分たちの活動の「透明性を高める」と以外での登録メリットを考える必要もあると考えます。

また、NPO 八王子会議開催に際し、事前に実施した84件の団体訪問での「ゆめおりファンド」に関わる回答の分析をふまえ、今後の活動に活かしていきます。

### ○今年度寄贈・頒布実績

寄贈物品	頒布物品
パソコンデスク7台、本棚及びカラーボックス11台、案内板5枚、チラシ入れ3個、傘立て4台、台車2台、椅子35脚、吸殻入れ1個、机/キャスター付39台、ホワイトボード/キャスター付4台、ホワイトボード/壁掛け型1枚、折りたたみ椅子/プラスチック1脚、サイドテーブル(白)2台、折りたたみパイプ椅子50脚、健康器具/レガッタ1台、高齢者用買物カート2台、ハンドマイク1台、デジタルカメラ1台、充電式掃除機1台、チースト3台、衣装ケース5個	机/キャスター付32台、椅子69脚、デスクトップPC1台、傘立て2台、書籍「童話の花束」75冊、案内板5面、デジタルカメラ1台、買物カート2台、事務用品1式、ホワイトボード/キャスター付1台、本棚(2ボックス)4台、机1台、カラーボックス3台、台車1台、PCデスク1式、ハンドマイク1台、吸殻入れ1個、コートスタンド1台、姿見(鏡)1面、テーブル3台、事務机3台、事務椅子3脚

○「ゆめおり登録団体一覧」平成23年度末現在

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
登録団体数	団体	団体	団体	団体
☆	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆ 1	☆☆☆☆☆ 3
	☆☆☆	☆☆☆ 1	☆☆☆ 2	☆☆☆ 3
	☆☆	☆☆ 2	☆☆ 2	☆☆ 4
	☆	☆ 12	☆ 20	☆ 22
72 団体	0 団体	15 団体	25 団体	32 団体

団 体 名	認 定	団 体 名	認 定
1. 八王子さくらの会	☆☆☆☆☆	17. 発達支援の会ー未来	☆
2. 日本介助犬協会	☆☆☆☆☆	18. ヒーリングアート・パステルカフェ	☆
3. はちきた SC	☆☆☆☆☆	19. らくだの夢グループ	☆
4. 八王子市民活動協議会	☆☆☆	20. めじろむつみクラブ	☆
5. 草の根メディエーション	☆☆☆	21. 日本ウエルネット	☆
6. 八王子是市民の会	☆☆☆	22. 未来設計・キャリア研究会	☆
7. 里親ひろばほいっぷ八王子	☆☆	23. 緑サポート八王子	☆
8. ケアセンター八王子	☆☆	24. 八王子こども劇場	☆
9. f-ship	☆☆	25. くるみ	☆
10. 南大沢音訳の会「こだま」	☆☆	26. 浅川流域市民フォーラム	☆
11. 結の会	☆	27. すずしろ22	☆
12. 八王子いちょう祭り祭典委員会	☆	28. 八王子ワークセンター	☆
13. ニューイング	☆	29. CES(八王子生活館)	☆
14. らいふねっとMOE	☆	30. エンツリー	☆
15. 八王子国際協会	☆	31. みんなのひろば	☆
16. チェロ・コンサートコミュニティ	☆	32. 若駒サポート	☆

以 上